

## 富田弘一郎資料の保存と整理について

弘田澄人\*・國司眞\*

On the preservation and classification of Tomita collection

Sumito Hirota\* and Makoto Kunishi\*

### 1. はじめに

川崎市青少年科学館には、東京天文台講師であった故・富田弘一郎先生から受け継いだ膨大な資料がある。寄贈いただいた経緯と、現在までに整理、分類できた一部の資料について、その内容を報告する。

富田先生は1947年から東京天文台（現国立天文台）の天体掃索部に勤務され、広瀬秀雄氏らとともに小惑星および彗星の位置観測、掩蔽の観測、流星の同時観測による軌道決定などに携われた。ことに流星写真観測では1948年から川崎市西生田小学校の校庭に観測拠点を設け、三鷹の東京天文台との2点観測を実施した。この時、箕輪敏行氏をはじめ、後に川崎天文同好会を設立する多くの市民と大学生が観測に協力した経緯がある。

「観測の鬼」と言われた富田先生は太陽系小天体の観測の他、望遠鏡や観測装置の開発にも熱心に取り組まれ、月までの距離を正確に測るレーザー測距に取り組まれた。そして1985年に東京天文台を退官された後も、人工衛星追跡の専門家として活躍された。

また、ご自身の研究の他、後進やアマチュアの育成にも力を注がれ、天文書の執筆や天文雑誌で天体写真の評者として活躍された。先生の著書を読んで宇宙に興味を持った天文愛好家は大変多い。

本稿は富田先生から受け継いだ天文関係資料の整理と保存の状況および展望について報告する。

### 2. 寄贈の経緯

富田弘一郎先生は2006年5月にその生涯を終えられた。その後、川崎天文同好会の箕輪敏行氏を通じ、先生のご子息から膨大な天文関連の資料を青少年科学館と川崎天文同好会とに寄贈されたい意向であるとのご連絡をいただいた。さっそくご自宅に伺い資料の内容を確認した。

書籍と天文資料は6連で180cm幅のスライド式書架と6台の90cm幅書架に収められており、150個の資料保存

箱に梱包し、同年9月20日に青少年科学館への搬入を完了した。当初、科学館がすでに所蔵し重複する天文雑誌等の書籍は、川崎天文同好会で活用することを予定していたが箕輪氏の強いご希望で、すべての資料を科学館で受け入れることになった。

改築前の科学館には書庫が無かったため、番組制作室と天体観測室に書架と整理棚を設置し書籍類を収納した。また、書籍以外の天文資料については、仮設倉庫を設置し保管した。その後、科学館改築計画の進捗に伴い2回の引っ越しを経て、現在は研究管理棟の書庫と天体観測室に収納されている。

### 3. 資料整理の方法

書籍約1,000冊については「富田弘一郎氏寄贈」のゴム印を押印し科学館の他の蔵書とともに蔵書リストを作成後、書庫に収納した。図書の閲覧は研究管理棟事務室で申込みをすればどなたでも利用できる。

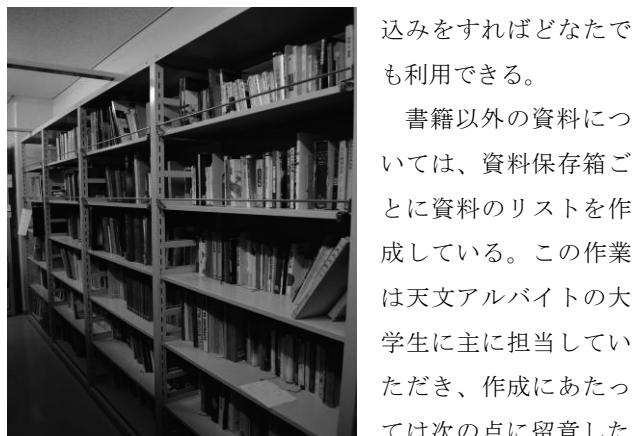


図1. 書庫に収納された書籍。

- ① 資料名は「富田先生資料」と記し、保存箱に番号を振る。
- ② 資料名、内容、研究分野、形状、取扱備考等について記入する。資料は天文分野の広い範囲における、太陽系の天体、人工衛星、測地観測、宇宙少年団の活動等

多岐にわたる。内容や形状についても論文、手紙、新聞の切り抜き、書籍のコピーなど様々な資料があるので、リストにその概要を記入する。

- ③ リストは保存箱の側面に張るとともに、中に1枚入れる。

富田先生資料		No.104		
No.	資料名	内容	収納内容 大判用 人工作業 用紙 用紙	状態 写真等
1	優秀科学賞受賞	平成2年(1994年)度年報	冊子	書類に記入され有
2	日本文部大臣賞	第30号～第35号、1990～土星の環消失記念アルバム	○	複数ファイル 写真あり
3	川崎市科学普及委員会	(1992年3月20日～21日 参考資料[資料のデータ])		オーディオ ファイル
4	日本電気社説	No.100		冊子
5	富田小惑星小説	平成21年8月、ガラスコレーティング技術で「富田先生の天体」に上れる富田彗星の誕生日記念	○	未書きファイル
6	富田小惑星由来資料	小惑星の誕生日記念で「小惑星の名前を冠した河原の小惑星」を記す。		書類に記入され有 書類に記入され有
7	大型光学系外壁望遠鏡開通	1988年9月 ハイ島島アカツカ山頂に建設された計画(後で呼ばれる星雲鏡)	○	複数冊子
8	富田小惑星小説	1995年8月10日～11日 金星観察、岩質表面探査		複数ファイル
9	Oscillation by Hubble K.TOMITA	1994年12月27日ハブル彗星による太陽風に接する彗星、新星観測報告		複数ファイル
10	富田小惑星小説	天文台別小惑星観察報告、天文台別、この一年の天体研究等		未書きファイル(色あせしている)
11	富田小惑星小説	1995年1月～2月、1995年2月15日～2月16日 富田彗星についての記事		未書きファイル(色あせしている)
	水星ノンジルム資料	1993年11月10日～12日撮影 プラネット撮影装置および鏡筒等	○	白静庫
	富田先生誕辰40周年記念書籍アルバム(電通大学を紹介)40周年記念書籍	吉本先生誕辰40周年記念書籍(アルバム)電通大学を紹介)40周年記念書籍等		未書きファイル(小さい様 ファイルが記されている)
	彗星小説 第2回 八王子	1991年3月～4月26日、日経、参考書欄、午後集		写真あり
	第6回小惑星小説名古屋	出席者名簿、小惑星の誕生の報告方法について、「オーバロン先生系の盈余収支の算定について」		書類(東京大学附属天文台)
	第1回彗星小説	1993.3.20-21 記念講演		書類(東京大学附属天文台) 未書き(紙に記入され有 紙に記入され有)
	国立天文台 沿革誌	沿革誌(書類、日記等、任命書、行合券)用紙等	○	未書きファイル 色褪せ
	年鑑等	ばどきーるの記録、日記等、世界大戦から現までの会の事務ご報告		黄色ファイル
	ショットカットカラード映像完成音源	科学者リポート(カラード映像)ショットカットカラード映像、元底版		未書きファイル
12	IMUコロニー 128 日本	IMUコロニー日本(日本)、吉本編著賞賛書(電子)、高木先生からの天文系研究部門(白井哲)、大賞賞料(水色封筒)		未書きファイル 汚れ
	オーステン 1889	オーステン彗星についてのノート、資料、聞き手の新聞記事等		未書きファイル 色褪せ
	レーザ	激光写真機(レーザー)の使用方法		複数ファイル
	EGP 総合誌(1) 1989年5月～8月	電気エネルギー部の打ち上げ技術トピック、レントラルパソコンのカタログ、出版時の報奨書等	○	未書きファイル 複数インクで記されている
I 1889-1912	Kometen-Breitken彗星についてのノート、計画の手書き			計画は現んである しみ、色あせあり
D 1893-1932	Kometen-Breitken彗星についてのノート			計画は現んである ノートの状態悪い
V 1932-1940	Kometen-Breitken彗星についてのノート			計画は現んである
IV 1941-1945	Kometen-Breitken彗星についてのノート			計画は現んである ノートの墨色外れ
V 1946-1953	Kometen-Breitken彗星についてのノート、手稿			計画は現んである

図2. 資料リストの例 (資料保存箱 No. 104).

#### 4. 特筆すべき資料

膨大な資料の中に1949年からの観測野帳が含まれており、ブラッシャー一天体写真儀の観測データ、掩蔽観測データ、流星写真儀の観測データ等がある。表紙に「Tokyo Astronomical Observatory Sky Patrol Section K. Tomita」の他、H. Kosaiと記入された観測野帳もあり、東京天文台天体掃索部の香西洋樹氏の記録も含まれている。

また、流星写真儀の観測データには、三鷹の東京天文台と川崎市西生田小学校間で実施した流星の写真2点観測のデータも含まれている。その記録には川崎の標記があり、当時大学生で観測に携わった河原郁夫氏の名前が記されている。河原氏はプラネタリウム解説を60年続けられ、現在も青少年科学館で「星空ゆうゆう散歩」を担当されている。また、この観測は日本で初めて実施されたもので、川崎での観測場所整備に尽力された箕輪氏をはじめ市

域の皆さんの協力により実施された。そして、この観測が契機になり、川崎天文同好会が設立された経緯がある。



図3. 観測野帳の一部.

#### 5. 今後の課題と資料の活用

富田先生の資料が科学館に搬入されてから10年以上の歳月が経過した。しかし、いまだに整理は完了せず、資料の全容が把握できていない状態である。進捗のスピードを上げるため、来年度は集中して整理実施日を設ける必要がある。また整理した資料を保管する場所についても、倉庫を整理し確保しなくてはならない。

資料の活用については、富田先生の業績展の開催が考えられる。また研究者にとって60年以上前の観測データは、時系列の変化を確認するための重要な資料となるので、資料リストの公開を視野に入れ整理する必要がある。

#### 6. 謝辞

富田弘一郎先生の天文資料の寄贈及び整理にあたっては、箕輪敏行氏、内野 哲氏、川崎天文同好会の皆様およびアルバイトの大学生各位に多大なご協力をいただいた。ここに改めて感謝申し上げる。

#### 7. 参考文献

- 富田弘一郎, 1964. 流星写真儀. 天文月報, 57(4): 75-77.  
齋藤馨兒, 2006. 富田弘一郎さん追悼の言葉. 天文月報, 99(8): 471-472.